

# マニュアル

Version3.2

FastViewer - 世界をつなぐソリューション - いつでも、どこでも



開発元: FastViewer GmbH  
販売元: 株式会社 フェロー  
E-mail : [info@fastviewer.jp](mailto:info@fastviewer.jp)  
U R L : <http://www.fastviewer.jp/>

## 目次

### FastViewerの使用にあたって:

- はじめに

### FastViewer (SP、CO)

- 製品のご紹介 .....01
- マスターモジュールの使用手順 .....02
- クライアントモジュールの使用手順 .....06
- リモート・モードの使用手順 .....別冊リモート・モードマニュアルをご参照ください。
- 共有項目の承認 .....07
- 機能の説明-リモートスクリーン・ビューア .....08
- 機能の説明-サイドバー・ショートカットバー .....09
- 各機能の説明
  - 1. クイックスタート .....10
  - 2. セッション .....10
  - 3. 参加者 .....10
  - 4. アプリケーションフィルタ .....11
  - 5. 画面 .....11
  - 6. チャット .....12
  - 7. ファイルボード .....12
  - 8. 映像 .....12
  - 9. 個人の映像 .....13
  - 10. 音声 .....13
  - 11. ログメッセージ .....13
  - 12. 情報 .....13
  - 13. 電話会議 .....14
  - 14. リモート操作の中止 .....15
  - 15. 表示方向の切替 .....15
  - 16. ズームモード切替 .....15
  - 17. ツール .....15
  - 18. ファイル転送 .....15
  - 19. ホワイトボード .....17
  - 20. セッションの録画 .....18
  - 21. 色の変更 .....18
  - 22. 新しいセッションIDの取得 .....19
  - 23. ユーザ管理 .....19
  - 24. パスワードを変更 .....22
  - 25. ポートマップを開く .....23

26. リモート管理	.....24
27. FastViewerの終了	.....24
● 起動時パラメータの説明	
1. パラメータ設定方法	.....25
2. パラメータ説明	.....26
● ポータルサイトでのカスタマイズ	.....27

※当マニュアルは 2013 年 8 月版です。実行プログラムは常にアップデートされておりますので、最新プログラムの動作が正規の動作となります。  
マニュアルは参考用としてご活用ください。

本書で使われているソフトウェア名は各社の商標または登録商標です。

このマニュアルおよびその抜粋は、FELLOW及びFastViewer社の許可なしには、いかなる方法によっても転載、複写することは許されておりません。

このマニュアルはプログラムの最新状況に基づき、細心の注意を払って作成していますが、本書の内容の誤りに関してFELLOW及びFastViewer社は何ら責任を負いません。また、FELLOW及びFastViewer社は予告なしにいつでもこの内容を変更することができます。

FastViewer に関する詳細な製品情報については

<http://www.fastviewer.jp/>

をご覧ください。

## はじめに

**FastViewer** をお買い上げ又はご検討頂きありがとうございます。

**FastViewer** は、とても簡単にリモートアクセスを実現するソフトです。

インストールも設定も不要なので、普段はリモートアクセスソフトなど使ったことがない一般のパソコンユーザでも容易に使うことができます。

「複雑な設定がつきもの」というリモートアクセスのイメージを払拭するソフトです。

**FastViewer** は、どこからでもご利用できます。

一人一台? **FastViewer** にはそんな制約はありません。**FastViewer** は接続する側のライセンス料だけで利用できます。

ライセンスで制限されるのは同時接続数だけで、使用するマシンの台数や場所に制限はありません。

しかも接続される側には、まったく費用は要りません。

接続に必要なモジュールは USB メモリ等で持ち運んでも良いですし、Web からいつでも入手可能です。

**FastViewer** は、どんな接続環境でも使えます。

**FastViewer** はインターネットに繋がったパソコンならば、どんな接続環境でも使えます。

自分や接続相手がファイアウォールの中にあったり、途中にルータがあっても気にする必要がありません。

**FastViewer** は、安心して使えます。

リモートアクセスで何かと気になるがセキュリティ。**FastViewer** では、すべてのデータを強力な暗号化によって不正な閲覧から守っています。

また、不正な接続や不正な操作からパソコンを守る様々な機能を備えています。

サポート、コンファレンスのモードについては、このマニュアルの中で詳しくご説明致します。

## FastViewer 製品のご紹介

FastViewerを双方で起動し、お客様にセッションIDを入力していただくだけで簡単に接続できます。

インターネット接続のできる環境であれば、世界中のどこからでも、またどんな接続形態であってもご利用できるので、能率的な連携作業と迅速なサポートで、お客様の信用と満足が得られることでしょう。

- **サポートモード:**

**サポートモード**は、接続したコンピュータの操作ができます。

クライアントのPCに問題が起きた時に、FastViewerを用いてアクセスし、すばやく問題を解決しましょう。

また、文書やデータをクライアントのPCと一緒に編集したり検討することもできるので、効果的にお客様との共同作業ができます。

- **プレゼンテーションモード:**

**プレゼンテーションモード**は、あなたのデスクトップをクライアントのPCの元へ表示することができます。

オフィスに居ながらにしてご自分の作成した資料を、お客様にご覧いただけるので、出張や移動の時間なしにプレゼン活動が行えます。

- **コンファレンスモード:**

**コンファレンスモード**は、電子会議やグループ作業、Eラーニングによる教育用途に最適です。

主催者は、セッションIDとパスワードを参加者に伝え、参加者はそれを入力することで、接続が成立します。

ライセンス数に応じて、1接続で100人まで参加が可能です。

迅速かつ効果的なプレゼンテーションや教育訓練が実現できるだけでなく、参加者の移動や出張が不要なため、日程調整も容易になり、コストの削減にも繋がります。

接続には2つのモジュールを使用します。

- **マスターモジュール:**

接続する側(マスター)が用いるモジュール“**FastMaster.exe**”です。

マスターモジュールにはライセンス情報が含まれています。マスターモジュールは同時接続ライセンスになっておりますので、1ライセンスのご契約で複数のご担当者で利用していただくことが可能です。

ただし、同時接続できるセッション数の上限はご購入されたライセンス数となります。

USBメモリのようなメディアに保存することもできるので、作業場所にとらわれず作業することが可能です。

- **クライアントモジュール:**

接続される側(クライアント)が用いるモジュール“**FastClient.exe**”です。

クライアントモジュールは、お客様や同僚など何人にでも配布可能です。

例えば、クライアントモジュールを自由にウェブサイト上に置いて使えるようにしたり、メールで送ったりすることもできます。

### システム前提条件:

OS: Windows2000, XP, Vista, 7, Server 2000 / 2003 / 2008

### システム要件:

インターネット接続、(推奨:DSL 2000 Kbit/s)

## FastViewer マスターモジュールの使用手順



FastMaster.exe

- ① セッションを開始するには、マスターモジュール“FastMaster.exe”を起動してください。(※1)
- ② サーバへの接続が確立されると、各モードの選択画面が表示されます。



- サポートモード:

左の画面でサポートを選択します。

サポートモードではクライアント側のデスクトップを見たり、操作を代わりに行うことができます。



- プレゼンテーションモード:

左の画面でプレゼンテーションを選択します。

プレゼンテーションモードではマスター側のデスクトップをクライアント側に見せることができます。



- **コンファレンスモード:(会議を始める)**

左の画面でコンファレンスを選択します。

左側の会議を始めるのタブをクリックします。

コンファレンスモードではマスター側又はクライアント側のデスクトップを複数の参加者に見せることができます。

※複数の参加者に見せる場合は、パスワードの設定が必須です。



- **コンファレンスモード:(会議予定の作成、開始)**

左の画面でコンファレンスを選択します。

右側の会議予定の作成、開始のタブをクリックします。

新規のボタンをクリック又は会議予定を右クリックし編集を選択すると、会議予定の編集画面が表示されます。

会議を選択して開始ボタン又は右クリックのメニューから開始をクリックすると選択した会議を開始します。



- **コンファレンスモード: (会議予定の)編集**

会議予定の編集画面では次の項目を設定してください。

名前:(会議名)

日時:

時間:

パスワード:

コメント:

項目の設定後、保存ボタンをクリックすると会議予定に追加されます。



- **コンファレンスモード: (会議予定の)開始**

会議を開始していると招待されているユーザが参加可能になります。

会議を止めたい場合は、停止ボタンをクリックしてください。

※ご招待メールをクリックするとクライアントモジュールのダウンロードURLが記載されたメールが自動作成されます。

※**現行のバージョンについて**

自動作成時点のメールの件名は日本語に非対応です。

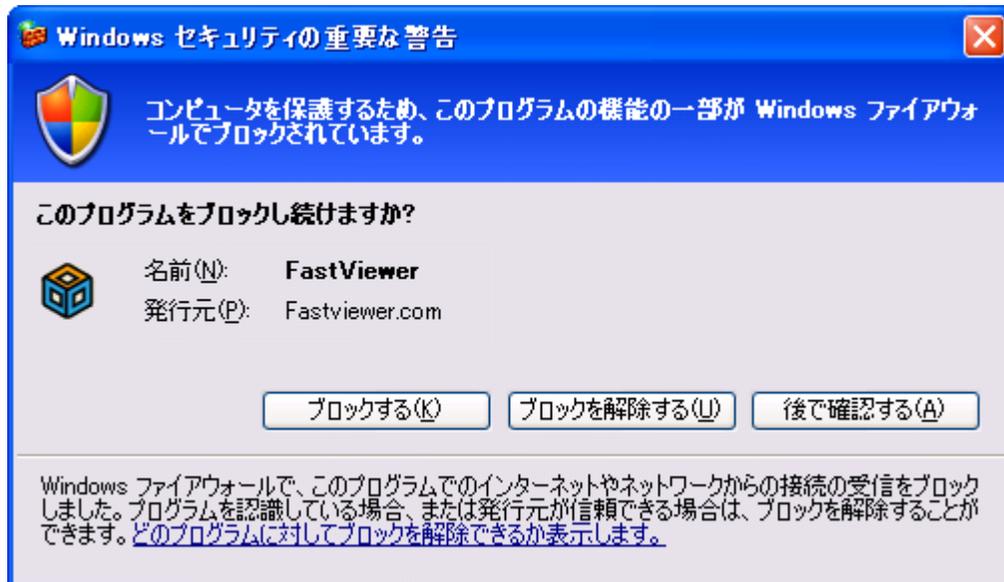
会議予定は日本語入力に非対応です。

③ **セッションID (96771) をクライアント側に伝えます。**

セッションに接続するたびに毎回ランダムなセッションIDが生成されます。このセッションIDをクライアント側に電話やメールで知らせてください。

※パスワードを設定している場合は、設定したパスワードも伝えてください。

※1 最初にFastMaster.exeを起動したとき、あるいはFastMaster.exeの置き場所を変更して最初に起動したとき、次のような警告画面がWindowsによって表示されることがあります。



ブロックを解除するを選択すると、ファイアウォールの例外にFastMaster.exeが登録されます。

例外に登録されるのを避けたい場合には、この画面を閉じてください。

ブロックを解除しなくてもFastViewerの使用はできますが、データの転送速度は遅くなります。

ファイル転送など、大量のデータをやりとりするときや、操作性を少しでも上げたいときは、ブロックを解除した方が良いでしょう。

Windowsのファイアウォールではなく、市販のファイアウォール機能を持つソフトを使っていた場合にも、同様の警告メッセージが出ることがありますが、その場合もブロックを解除するように設定してください。

## FastViewer クライアントモジュールの使用手順



The image shows two screenshots of the FastViewer client module login interface. The top screenshot shows a successful login attempt where the session ID '96771' and user name 'ユーザ' are entered, and the '接続' (Connect) button is highlighted. The bottom screenshot shows an error message 'パスワードが未入力です' (Password is not entered) because the password field is empty, despite the session ID and user name being entered. Both screenshots include the FastViewer logo, version number '3.20.0003', and a '閉じる' (Close) button.

fastviewer

セッションID: 96771

ユーザ名: ユーザ

接続

オペレータから伝えられた5桁のセッションIDを入力してください。  
次に接続ボタンをクリックすると接続できます。

3.20.0003 閉じる

fastviewer

セッションID: 96771

ユーザ名: ユーザ

パスワード: 7890

接続

**パスワードが未入力です**

パスワードを入力してください。パスワードがわからない場合は、オペレータに問い合わせてください。

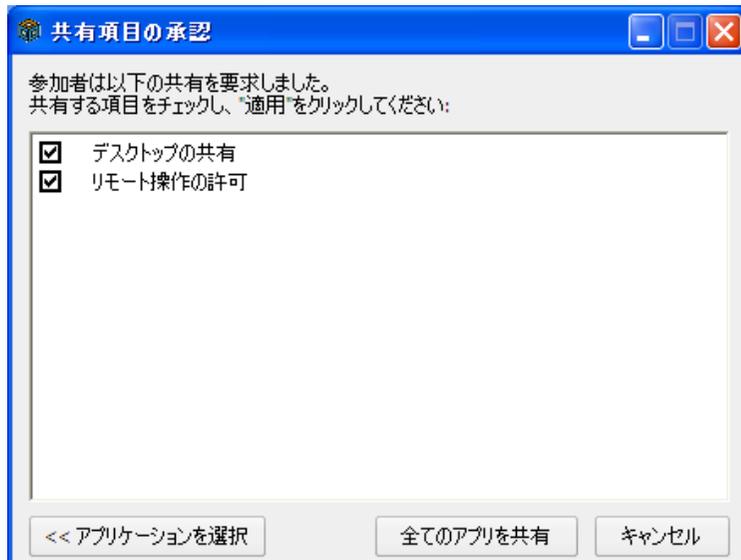
3.20.0003 閉じる

- ① セッションを開始するには、クライアントモジュール“FastClient.exe”を起動します。  
サーバに接続が確立されるとセッションIDとユーザ名を入力する画面が表示されます。
- ② クライアント側は、電話やメールで受け取ったセッションIDを入力します。  
(例 “96771”)  
セッションID入力後、接続ボタンをクリックするとマスター側との接続が確立されます。

注:  
ユーザ名の入力は必須です。

- ③ パスワードが設定されている場合は、左の画面が表示されます。  
パスワードを入力後、接続ボタンをクリックしてください。

## FastViewer 共有項目の承認



- ① 接続が確立すると共有項目の承認画面が表示されます。

共有する項目をチェックしてください。

アプリケーションを選択機能では、操作できるアプリケーションの制限や、デスクトップやタスクバー等の閲覧・操作の制限ができます。共有したいアプリケーションを選択して適用ボタンをクリックしてください。

全てのアプリケーションを共有する場合は、全てのアプリを共有ボタンをクリックしてください。

キャンセルボタンをクリックすると、何も共有しません。

注:

共有項目の承認画面は、画面を見てもらう又は操作をしてもらう場合に表示されます。

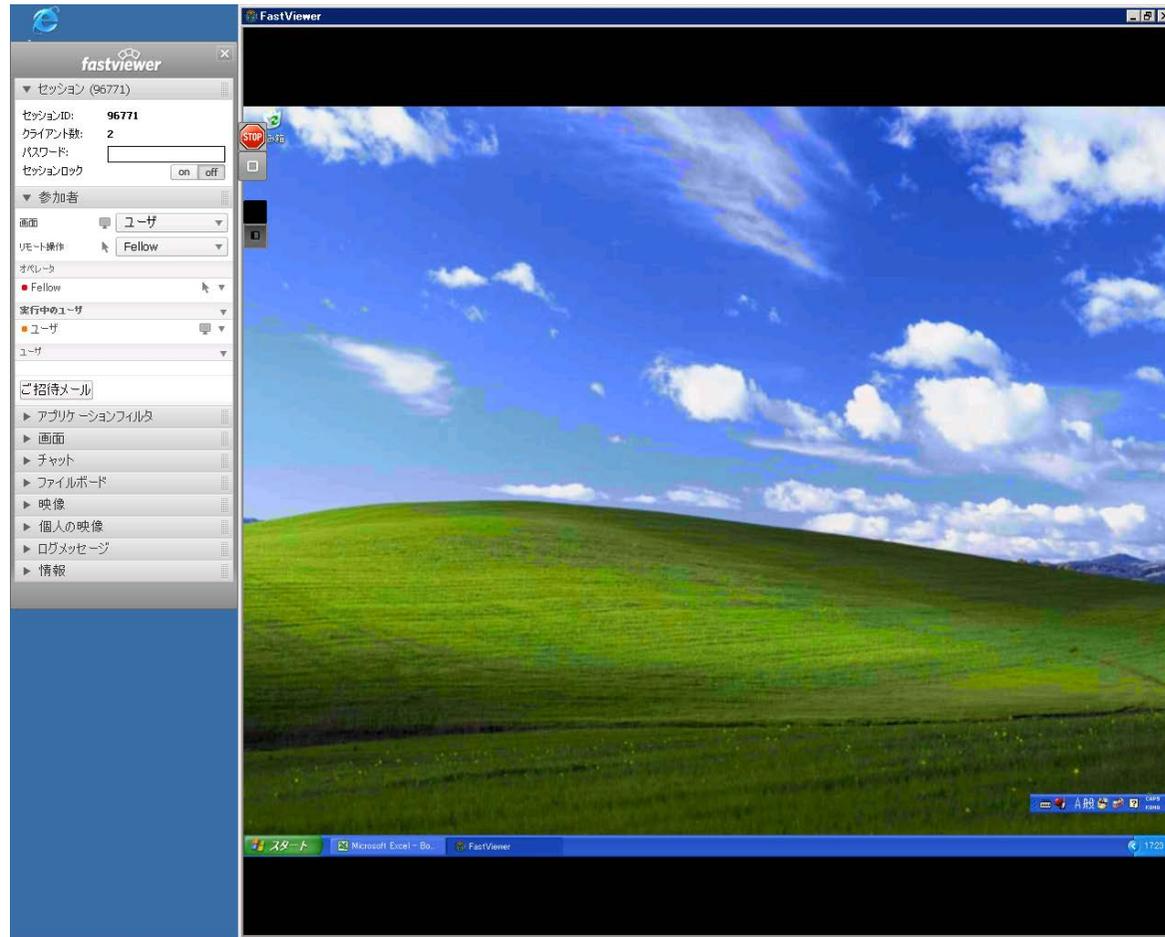
# FastViewer リモートスクリーン・ビューア

## リモートスクリーン・ビューア:

接続が成立するとリモートスクリーン・ビューアが表示され、モードに応じてマスター側又はクライアント側の画面が表示されます。

サイドバーが表示されている状態です。

最小化するには  をクリックしてください。



リモートスクリーン・ビューア右上のアイコンは通常のアイコンと同様に働きます。

 のアイコンはウィンドウを閉じると同時に、接続も終了するので注意してください。

		リモートスクリーン・ビューアを最小化します。
		リモートスクリーン・ビューアを最大化で表示する、または元のサイズに戻して表示します。
		リモートスクリーン・ビューアを閉じます。また、接続も終了します。

## FastViewer 機能の説明-サイドバーとショートカットバー

接続が確立されると、サイドバーとショートカットバーがデスクトップ左側に表示されます。  
サイドバーとショートカットバーは、マスター側とクライアント側で機能に制限がかけられています。  
左側の項目名が表示されているのがサイドバー、右側のアイコンのみ表示されているのがショートカットバーです。

### マスター側のサイドバーとショートカットバー

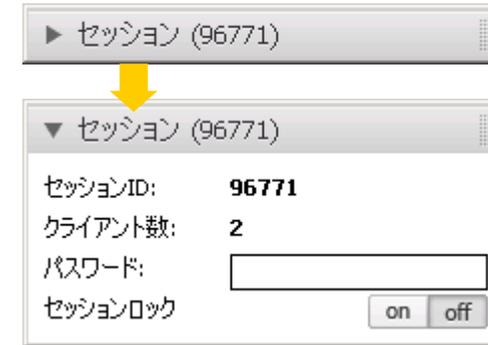


### クライアント側のサイドバーとショートカットバー



・サイドバーの ▶ の状態から詳細を表示する場合、表示したい項目をクリックしてください。

例:



・サイドバーの ▶ の項目は、ダブルクリック又はドラッグ&ドロップで外すことができます。サイドバーに戻す場合は、ダブルクリックしてください。

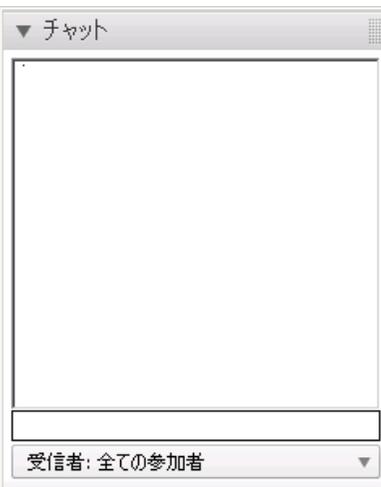
## FastViewer 各機能の説明

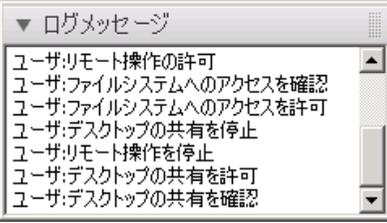
### 各機能の説明(サイドバー)

サポートモード=SP、コンファレンスモード=CO

	<b>1.クイックスタート (SP、CO)</b> 一部のショートカットバーの項目をサイドバーから操作することができます。各アイコンと機能の説明は、14.新しいセッションIDの取得以降を参照してください。	
	<b>2.セッション (SP、CO)</b> セッションID: 接続の際に必要なセッションIDが表示されます。 クライアント数: セッションに参加している人数を表示します。 パスワード: クライアントの接続時に設定したパスワードの入力が必要になります。 セッションロック: OFFの場合、制限をかけないためクライアント数の上限まで参加することができます。ONの場合、クライアント数に余裕がある場合でも新規の参加ができません。	
	<b>3.参加者 (SP、CO)</b> 画面: リモートスクリーン・ビューアに表示する参加者を選択できます。 リモート操作: リモートスクリーン・ビューア上で操作をする参加者を選択できます。 オペレータ: マスターの権限を持ち画面やリモート操作の選択等行えます。他の参加者に対して、名前の変更・切断・権限の変更を行うことができます。自身に対しては、名前の変更のみ行うことができます。 ユーザグループA: 初期設定で画面やリモート操作の候補になる参加者です。 ユーザグループB: 初期設定で画面やリモート操作の対象外になり、設定の変更ができません。 ご招待メール: セッションに招待するためのメールを作成できます。	
	<b>※ユーザグループAとユーザグループBのタイトルバー又は右端の▼を右クリックすると権限を設定のメニューが表示されます。</b> チャット-送受信許可: チャット機能での発言を許可するか設定します。 ファイルボード-アップロード許可: ファイルボード機能でのアップロードを許可するか設定します。 映像許可: 個人の映像機能での表示を許可するか設定します。 ホワイトボード-図形描画の許可: ホワイトボード機能での図形描画を許可するか設定します。 デスクトップの共有-ポインタを許可: デスクトップの共有時に相手のマウスカーソルを表示するか設定します。 参加者を○○に追加: 実行中のユーザ(ユーザグループA)又は ユーザ(ユーザグループBのどちらに)参加者を振り分けるか設定します。	

<p>▼ アプリケーションフィルタ</p> <p><input type="checkbox"/> 現在のアプリケーション  <input checked="" type="checkbox"/> 新しいアプリケーション  <input checked="" type="checkbox"/> デスクトップ  <input checked="" type="checkbox"/> タスクバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> Windows Explorer</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> Microsoft Office Word <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> スタンダードエディション ハンドブ</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> コンファレンスエディション ハンドブ</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>4.アプリケーションフィルタ(SP、CO)</b></p> <p>※操作できるアプリケーションの制限や、デスクトップやタスクバー等の閲覧・操作の制限ができます。  チェックを入れると閲覧・操作を許可、チェックを外すと閲覧・操作を拒否します。</p> <table border="1"> <tr> <td>現在のアプリケーション</td> <td>セッション接続前に起動しているアプリケーションの閲覧・操作を制御します。</td> </tr> <tr> <td>新しいアプリケーション</td> <td>セッション接続後に起動させたアプリケーションの閲覧・操作を制御します</td> </tr> <tr> <td>デスクトップ</td> <td>デスクトップの閲覧・操作を制御します。</td> </tr> <tr> <td>タスクバー</td> <td>タスクバーの閲覧・操作を制御します。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>下の枠内で個別に起動中のアプリケーションから閲覧・操作を制御することができます。</td> </tr> </table>	現在のアプリケーション	セッション接続前に起動しているアプリケーションの閲覧・操作を制御します。	新しいアプリケーション	セッション接続後に起動させたアプリケーションの閲覧・操作を制御します	デスクトップ	デスクトップの閲覧・操作を制御します。	タスクバー	タスクバーの閲覧・操作を制御します。		下の枠内で個別に起動中のアプリケーションから閲覧・操作を制御することができます。
現在のアプリケーション	セッション接続前に起動しているアプリケーションの閲覧・操作を制御します。										
新しいアプリケーション	セッション接続後に起動させたアプリケーションの閲覧・操作を制御します										
デスクトップ	デスクトップの閲覧・操作を制御します。										
タスクバー	タスクバーの閲覧・操作を制御します。										
	下の枠内で個別に起動中のアプリケーションから閲覧・操作を制御することができます。										
<p>▼ 画面</p> 	<p><b>5.画面 (SP、CO)</b></p> <p>リモートスクリーン・ビューアで表示している内容を確認することができます。</p>										

	<p><b>6.チャット</b> (SP、CO)</p> <p>画面下部のテキストエリアにメッセージを入力し、Enterキーを押すと、入力した文章がチャット画面に反映されます。 受信者を選ぶことで選択した参加者だけにチャット内容を表示することができます。</p> <p><b>(注意1)</b> マスターによってチャットが無効に設定された場合は、入力できません。</p> <p><b>(注意2)</b> 接続中は、全参加者でクリップボードのテキストを共有しています。 チャット中は秘匿の必要なデータをクリップボードにコピーしないでください。 クリップボードを使用したときは、送信前に意図したものと同一テキストが入力されているか、確認してください。</p> <p>チャットの記録を残したい場合には、Ctrl+A(全部選択)、Ctrl+C(コピー)の操作で表示エリアの内容をクリップボードにコピーし、エディタなどを使って保存してください。</p>																
	<p><b>7.ファイルボード</b> (SP、CO)</p> <table border="1"> <tr> <td>ファイル</td> <td>アップロードされたファイル名が表示されます。</td> </tr> <tr> <td>クライアント</td> <td>アップロードした参加者の名前が表示されます。</td> </tr> <tr> <td>状況</td> <td>処理の進行状況が表示されます。</td> </tr> <tr> <td>サイズ</td> <td>ファイルのサイズが表示されます。</td> </tr> <tr> <td>アップロード</td> <td>選択画面が表示され、選択したファイルをアップロードできます。</td> </tr> <tr> <td>ダウンロード</td> <td>ファイルボード内に表示されたファイルをダウンロードできます。</td> </tr> <tr> <td>キャンセル</td> <td>アップロード又はダウンロードの処理をキャンセルします。</td> </tr> <tr> <td>削除</td> <td>アップロードされているファイルを削除します。</td> </tr> </table>	ファイル	アップロードされたファイル名が表示されます。	クライアント	アップロードした参加者の名前が表示されます。	状況	処理の進行状況が表示されます。	サイズ	ファイルのサイズが表示されます。	アップロード	選択画面が表示され、選択したファイルをアップロードできます。	ダウンロード	ファイルボード内に表示されたファイルをダウンロードできます。	キャンセル	アップロード又はダウンロードの処理をキャンセルします。	削除	アップロードされているファイルを削除します。
ファイル	アップロードされたファイル名が表示されます。																
クライアント	アップロードした参加者の名前が表示されます。																
状況	処理の進行状況が表示されます。																
サイズ	ファイルのサイズが表示されます。																
アップロード	選択画面が表示され、選択したファイルをアップロードできます。																
ダウンロード	ファイルボード内に表示されたファイルをダウンロードできます。																
キャンセル	アップロード又はダウンロードの処理をキャンセルします。																
削除	アップロードされているファイルを削除します。																
	<p><b>8.映像</b> (SP、CO)</p> <p>他の参加者が画像又はWebカメラ等を個人の映像で設定している場合、映像に表示されません。</p>																

	<p><b>9.個人の映像 (SP、CO)</b></p> <table border="1"> <tr> <td>映像の選択</td> <td>個人の映像に表示する画像又はWebカメラ等を設定します。表示している画像の削除も行うことができます。</td> </tr> <tr> <td>映像の表示品質</td> <td>個人の映像を表示する際の品質を設定します。低品質・通常品質・最高品質の3種類の中から選択してください。</td> </tr> <tr> <td>映像表示設定</td> <td>個人の映像を参加者に表示させるか設定します。ONにすると他の参加者に表示します。OFFにすると他の参加者に表示しません</td> </tr> </table>	映像の選択	個人の映像に表示する画像又はWebカメラ等を設定します。表示している画像の削除も行うことができます。	映像の表示品質	個人の映像を表示する際の品質を設定します。低品質・通常品質・最高品質の3種類の中から選択してください。	映像表示設定	個人の映像を参加者に表示させるか設定します。ONにすると他の参加者に表示します。OFFにすると他の参加者に表示しません														
映像の選択	個人の映像に表示する画像又はWebカメラ等を設定します。表示している画像の削除も行うことができます。																				
映像の表示品質	個人の映像を表示する際の品質を設定します。低品質・通常品質・最高品質の3種類の中から選択してください。																				
映像表示設定	個人の映像を参加者に表示させるか設定します。ONにすると他の参加者に表示します。OFFにすると他の参加者に表示しません																				
	<p><b>10.音声 (CO)</b></p> <table border="1"> <tr> <td>音量</td> <td>音源の選択と音量の調整(強弱とON/OFF)が可能です。</td> </tr> <tr> <td>マイク</td> <td>マイクの選択と音量の調整(強弱とミュート)が可能です。</td> </tr> </table>	音量	音源の選択と音量の調整(強弱とON/OFF)が可能です。	マイク	マイクの選択と音量の調整(強弱とミュート)が可能です。																
音量	音源の選択と音量の調整(強弱とON/OFF)が可能です。																				
マイク	マイクの選択と音量の調整(強弱とミュート)が可能です。																				
	<p><b>11.ログメッセージ (SP、CO)</b></p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>操作の履歴が表示されます。</td> </tr> </table>		操作の履歴が表示されます。																		
	操作の履歴が表示されます。																				
	<p><b>12.情報 (SP、CO)</b></p> <table border="1"> <tr> <td>サーバ</td> <td>接続しているFastViewerサーバが表示されます。</td> </tr> <tr> <td>接続タイプ</td> <td>接続しているタイプが表示されます。</td> </tr> <tr> <td>受信</td> <td>現在の受信速度を表示します。</td> </tr> <tr> <td>送信</td> <td>現在の送信速度を表示します。</td> </tr> <tr> <td>総受信</td> <td>接続してからの合計受信量を表示します。</td> </tr> <tr> <td>総送信</td> <td>接続してからの合計送信量を表示します。</td> </tr> <tr> <td>接続時間</td> <td>接続時間を表示します。</td> </tr> <tr> <td>プロフィール</td> <td>使用モジュールを表示します。カスタマイズしていない場合は、デフォルトになります。</td> </tr> <tr> <td>バージョン</td> <td>モジュールのバージョンを表示します。</td> </tr> <tr> <td>マニュアルを表示</td> <td>マニュアルを表示します。(英語版)</td> </tr> </table>	サーバ	接続しているFastViewerサーバが表示されます。	接続タイプ	接続しているタイプが表示されます。	受信	現在の受信速度を表示します。	送信	現在の送信速度を表示します。	総受信	接続してからの合計受信量を表示します。	総送信	接続してからの合計送信量を表示します。	接続時間	接続時間を表示します。	プロフィール	使用モジュールを表示します。カスタマイズしていない場合は、デフォルトになります。	バージョン	モジュールのバージョンを表示します。	マニュアルを表示	マニュアルを表示します。(英語版)
サーバ	接続しているFastViewerサーバが表示されます。																				
接続タイプ	接続しているタイプが表示されます。																				
受信	現在の受信速度を表示します。																				
送信	現在の送信速度を表示します。																				
総受信	接続してからの合計受信量を表示します。																				
総送信	接続してからの合計送信量を表示します。																				
接続時間	接続時間を表示します。																				
プロフィール	使用モジュールを表示します。カスタマイズしていない場合は、デフォルトになります。																				
バージョン	モジュールのバージョンを表示します。																				
マニュアルを表示	マニュアルを表示します。(英語版)																				

▼ 電話会議 日本国内未対応	<b>13.電話会議</b>	<b>(CO)</b>
		日本国内は未対応の機能です。

## 各機能の説明(ショートカットバー)

### 14. リモート操作の中止 (SP、CO)



リモートで操作をされる側に表示され、クリックするとリモート操作を止めることができます。

※F11キーを押すことで同様にリモート操作を止めることができます。

### 15. 表示方向の切替 (SP、CO)



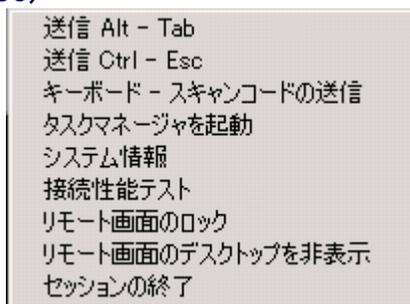
リモートスクリーン・ビューアの表示をマスター側からクライアント側、またはその逆に切り替えます。

### 16. ズームモード切替 (SP、CO)



リモートスクリーン・ビューアの表示をウィンドウにあわせるか、スクロールさせるか切り替えます。

### 17. ツール (SP、CO)



送信 Alt - Tab

送信 Ctrl - Esc

キーボード - スキャンコードの送信

タスクマネージャを起動

システム情報

接続性能テスト

リモート画面のロック

リモート画面のデスクトップを非表示

セッションの終了

特殊キーの送信;ウィンドウの切替

特殊キーの送信:スタートメニューの起動

相手側のキーボードと同期を取ります。

入力等の操作をスムーズに行うことができます

特殊キーの送信:タスクマネージャを起動

相手側のシステム情報を表示

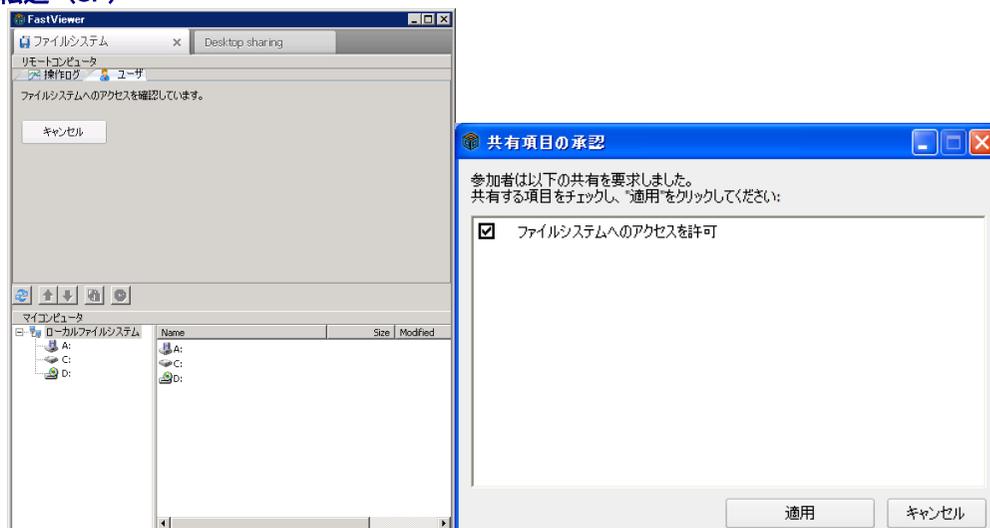
接続性能のテストを行い、速度等を確認できます

相手側の画面を隠し操作が見えないようにします

相手側のデスクトップの内容のみ非表示にします

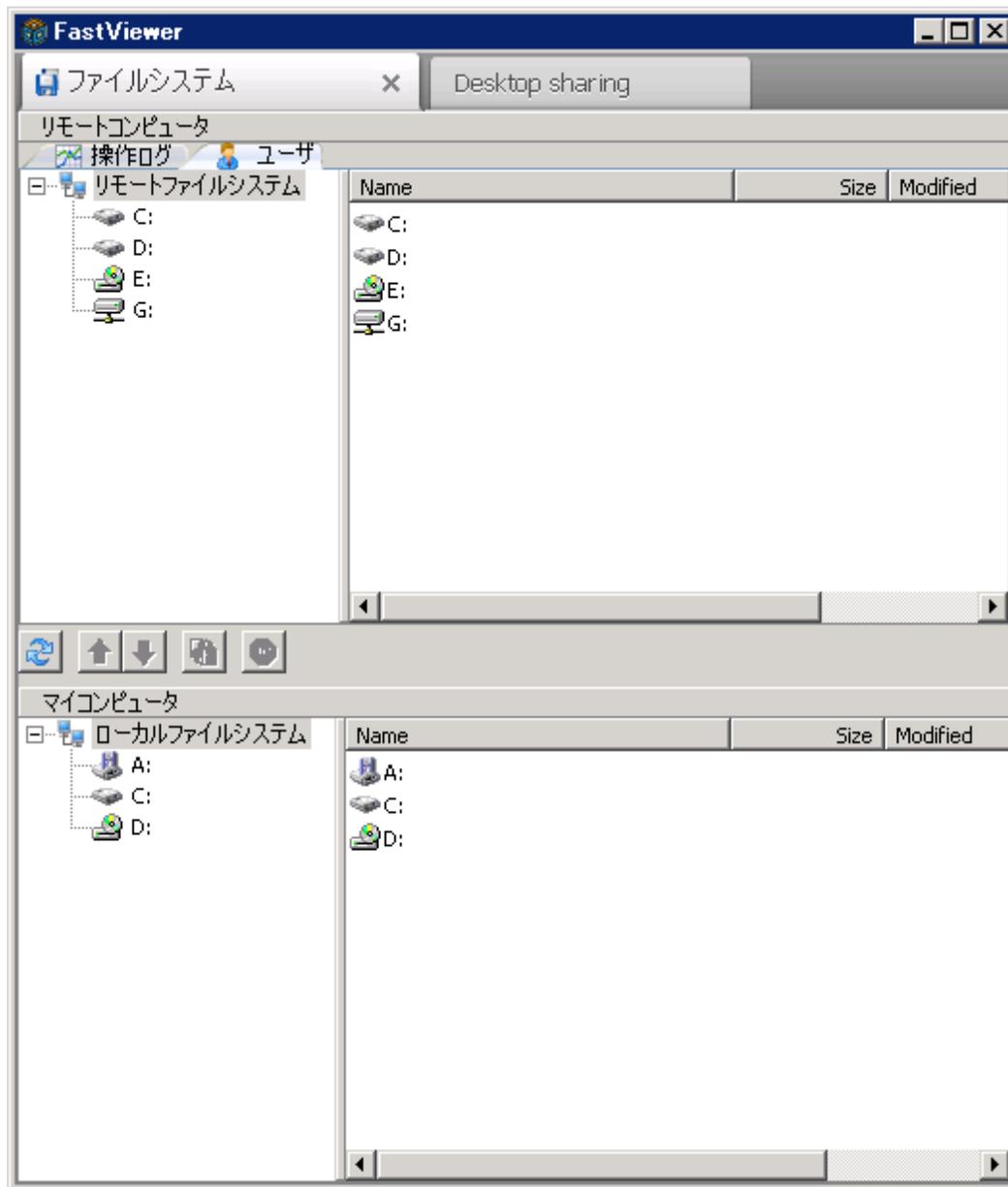
セッションを終了します

### 18. ファイル転送 (SP)



- 直接ファイル転送はサーバ上のファイルボードを介さずに、ファイルを転送する機能です。アップロード・ダウンロードの2度の転送ではなく、1度の転送でファイルの授受ができます。
- ファイル転送用の画面が開きますが、この時点では「ファイルシステムへのアクセスを確認しています。」と表示され、まだ転送を行うことができません。
- 相手側の画面にはアクセスの許可を求める「共有項目の承認」画面が出ます。ここでファイルシステムへのアクセスを許可にチェックを入れ、適用ボタンをクリックするとファイル転送が可能になります。

※チェックを外す又はキャンセルをクリックした場合、ファイル転送は行いません。



- 画面上が相手側、下が自分側です。
- 相手側と自分側の送るファイルと送り先のフォルダを選択します。
- ファイルを渡す場合は、そのファイルを選んでアップロードボタン  をクリックします。
- ファイルを受け取る場合は、そのファイルを選んでダウンロードボタン  をクリックします。
- ファイル転送中は画面中央部に進行状況が表示されます。途中で中止する場合はキャンセルボタン  をクリックしてください。
- ファイル転送のログは、自分側と相手側のログメッセージ(10頁)と操作ログに表示されます。

- 画面上のアイコンはそれぞれ次の意味を持ちます。

 操作ログ 操作のログを表示します。

 表示を最新の状態にします

 フォルダの同期を取ります。  
相手側と自分側のフォルダに無いファイルをコピーして同じ内容にします。  
※同名のファイル等が存在する場合、更新日の新しいファイルで**自動的に上書き**されます

ファイル転送の終了時はファイルシステムの右側にある

 のボタンをクリックしてください。

## 19. ホワイトボード (SP、CO)

The screenshot shows the FastViewer application window with a whiteboard titled 'ホワイトボード'. The whiteboard content includes:

- 製品紹介**
- FastViewer (ファーストビューア) でできること**
  - 遠隔地の人のパソコンを操作できます！
  - 遠隔地の人に自分のパソコンの画面を見せることができます！
- 接続は、**5桁の数字** を入力するだけ！
- すぐに使える**
  - インストール不要
  - 設定不要
  - ▶ 実行ファイルを起動して、5桁の数字を入力すれば接続できます。
- いつでも、どこでも**
  - 24時間利用可能
  - クライアントは 無料配布
  - ▶ 複数のサーバを用意しているので、24時間いつでも使えます。
  - ▶ 使用する場所や台数に制約はありません。
  - ▶ Webを閲覧できる環境があれば、基本的にどこからでも使えます。

- +
  - ✖
  - ✖
  - +
  - 鉛筆
  - マーカー
  - 直線
  - 四角形
  - 楕円
  - 四角形(塗りつぶし)
  - テキストボックス
  - ファイルから画像を挿入
  - 消しゴム
  - e
  - e
  - e
  - 色の設定
- 新しいホワイトボードの作成  
背景を残して書込みのみ削除  
背景と書込みを全て削除  
ホワイトボードを保存  
1操作元に戻す  
ホワイトボードを終了

## 20. セッションの録画 (SP、CO)



- 操作中の記録を録画して残すことができます。
- 録画の開始と終了は  ボタンをクリックしてください。
- 録画中はショートカットバーに **REC** と表示されます。
- 操作中に録画し保存したファイルは、実行形式 (EXE) のファイルになっており、そのまま実行することによって、保存した内容を再生することができます。録画機能は、特定の操作を記録して学習に役立てたり、記録を保存してセキュリティ管理に役立てたりすることができます。
- 録画ファイルを実行すると左の図のように、リモートスクリーン・ビューアで表示・操作された内容が再生されます。再生画面の下部にはボタンがあり、再生に関するさまざまな操作ができます。

Jump to Begin

最初に戻る

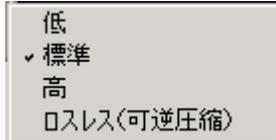
Play/Pause

再生/停止

Fast Forward on/off

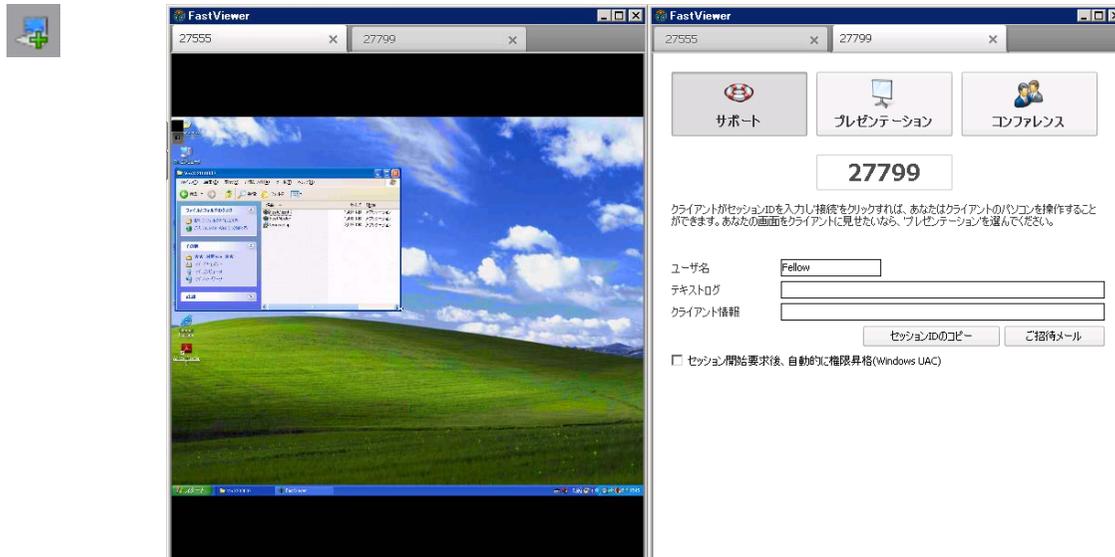
早送り オン/オフ

## 21. カラーモード変更 (SP、CO)



- 画面の表示色数を変更します。
- 実行速度が遅い場合は速度を低にする等、用途に合わせて変更してください。

## 22. 新しいセッションIDの取得 (SP)

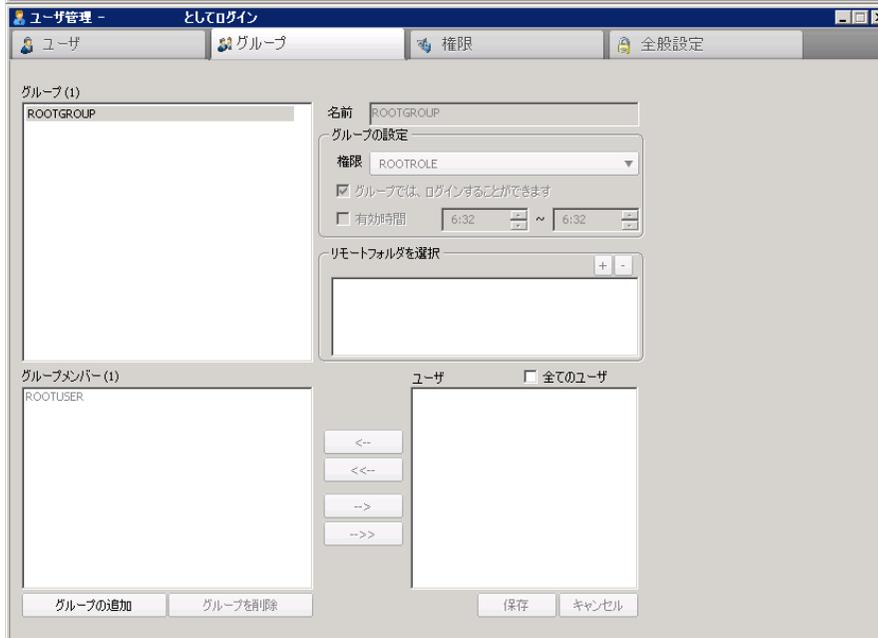
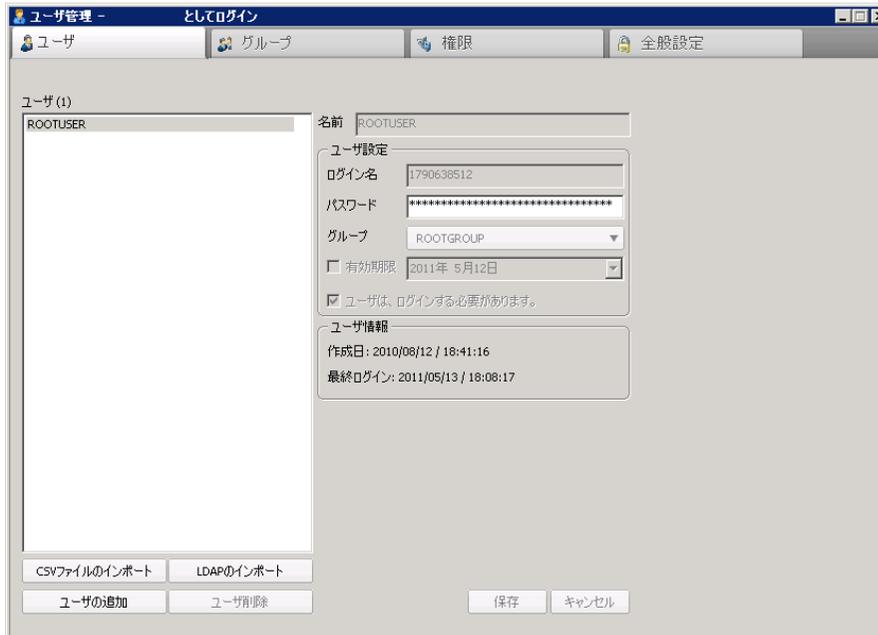


- 新たにセッションIDの取得が可能です。
- 使用中のセッションを終了させなくてもセッションIDを取得できるため別々のクライアントに同時に接続することが可能となります。
- 同時接続数の制限に達している場合は、ユーザ管理画面が起動します。

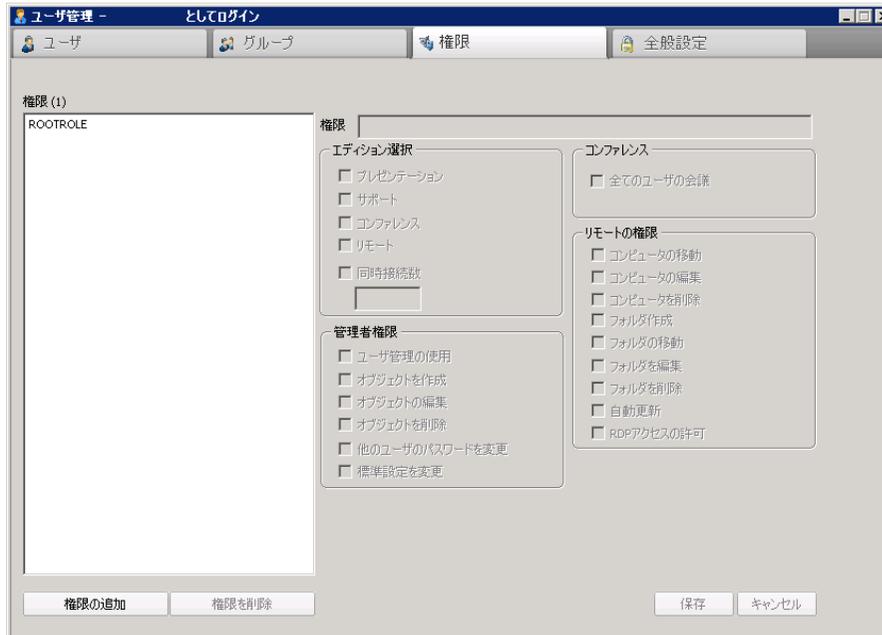
## 23. ユーザ管理 (SP、CO)



- マスターモジュール起動時にユーザ名とパスワードの確認画面を表示させる等の設定ができます。特定のユーザにのみ使用を許可したい場合にお使いください。
- ユーザ名には発行されたライセンス番号を入力してください。
- パスワードも同様に発行されたパスワードを入力してください。  
※ユーザ追加後は登録したユーザ名とパスワードを入力してログインが可能になります。
- 設定を行わない場合は閉じるボタンを押してください。



- ユーザを追加するには、インポート又はユーザの追加ボタンから行ってください。
- 登録したユーザを削除する場合は、ユーザ削除ボタンから行ってください。
- グループを追加するには、グループの追加ボタンから行ってください。
- 登録したグループを削除する場合は、グループ削除ボタンから行ってください。



- 権限を追加するには、権限の追加ボタンから行ってください。
- 登録した権限を削除する場合は、権限を削除ボタンから行ってください。



- マスターモジュール起動時にIDとパスワードの確認画面を表示させたり等設定することができます。

## 24. パスワードを変更（ユーザ管理機能にてユーザ追加後）





ユーザ名:

古いパスワード

新しいパスワード

新しいパスワードの再入力

古いパスワードと新しいパスワードを入力してください

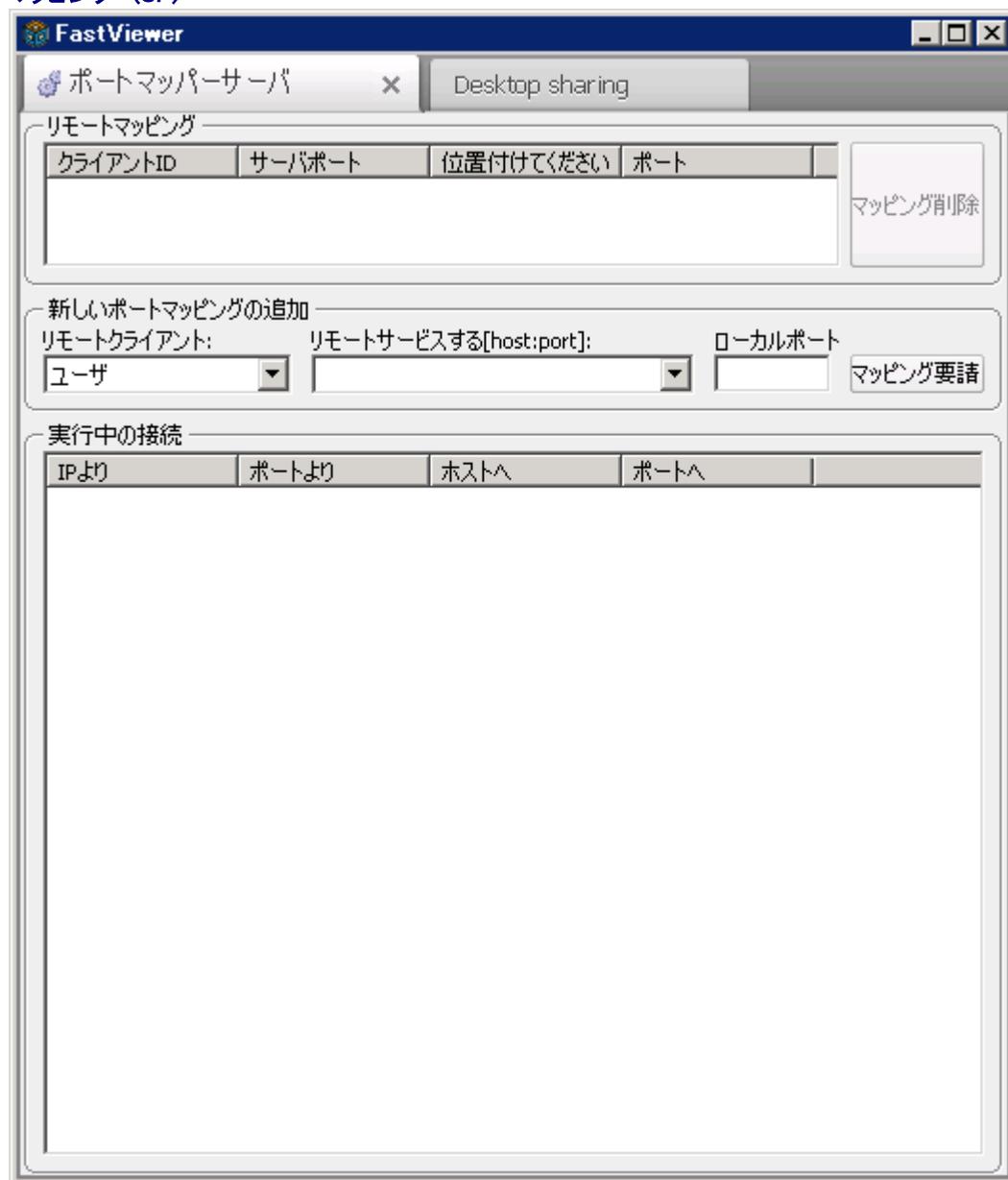
---

3.20.0007

- パスワードを変更することができます。
- ライセンス番号又はユーザ名を入力します。
- 古いパスワードには、使用中のパスワードを入力します。
- 新しいパスワードと新しいパスワードの再入力には変更したいパスワードを入力します。
- 必要項目を入力を変更ボタンで設定を保存します。

※ライセンスに対してのパスワードの設定のため、接続の際に使用するパスワードとは関係がありません。

## 25. ポートマッピング (SP)



- 接続先のポートを指定し接続することができます。

## 26. リモート管理 (リモートモードご購入時)



fastviewer

リモート管理

ユーザ名:

パスワード:

ログイン

ユーザ名とパスワードを入力してください。  
※ユーザ追加をしていない場合は、ライセンスNoとパスワードを入力してください。

3.20.0007

- リモート・モードをご購入いただいた場合に追加される機能です。
- 詳細な内容はリモート・モードのマニュアルを参照してください。

## 27. FastViewerの終了 (SP、CO)

fastviewer

セッションは終了しました

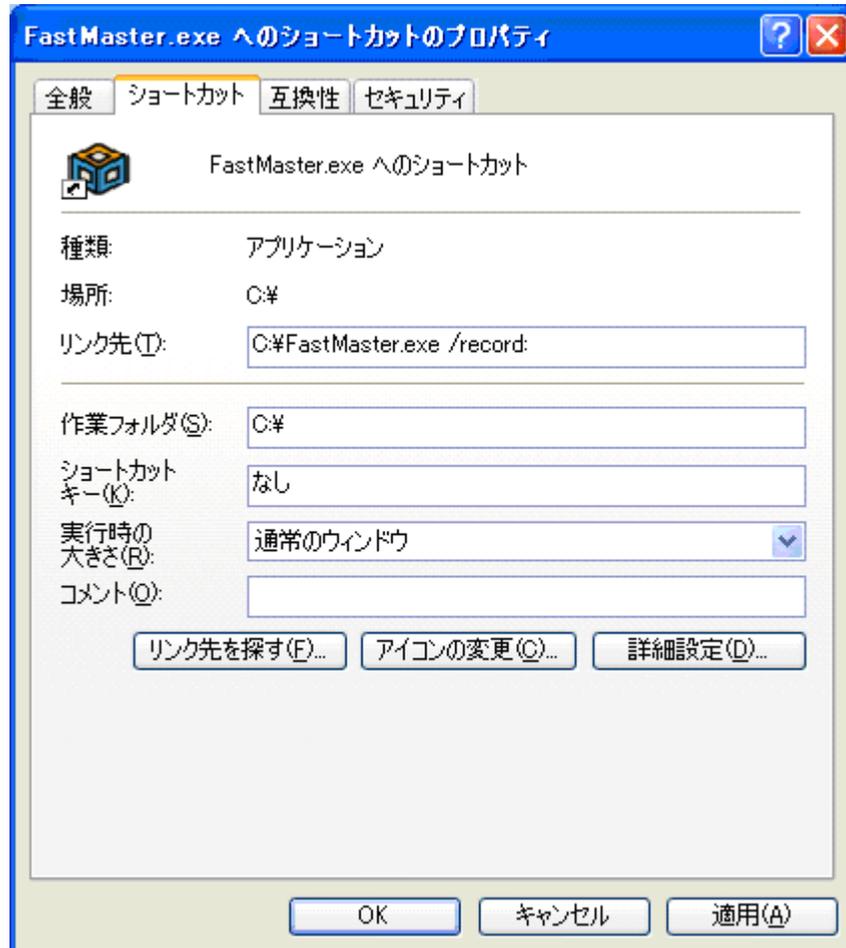
より詳細な情報については、こちらにアクセスしてください  
[www.fastviewer.com](http://www.fastviewer.com)

3.20.0007

- FastViewerは以下の方法で終了させることができます。
  - リモートスクリーン・ビューア右上の ボタン
  - サイドバー上の 又は ボタン
  - 各機能の説明24.ツール内のセッションの終了
- FastViewerを終了したとき、この画面が表示されます。閉じるボタンをクリックしてこの画面を終了させてください。
- 「再起動」はマスター側のみ表示され、次のセッションIDを取得します。連続してFastViewerをご利用される場合にクリックしてください。
- ログの表示は開始から終了までのログを表示することが可能です。

## FastViewer 起動時パラメータの説明

### 1. パラメータの設定方法:



マスターモジュール“FastMaster.exe”は次の起動パラメータをつけて起動することができます。

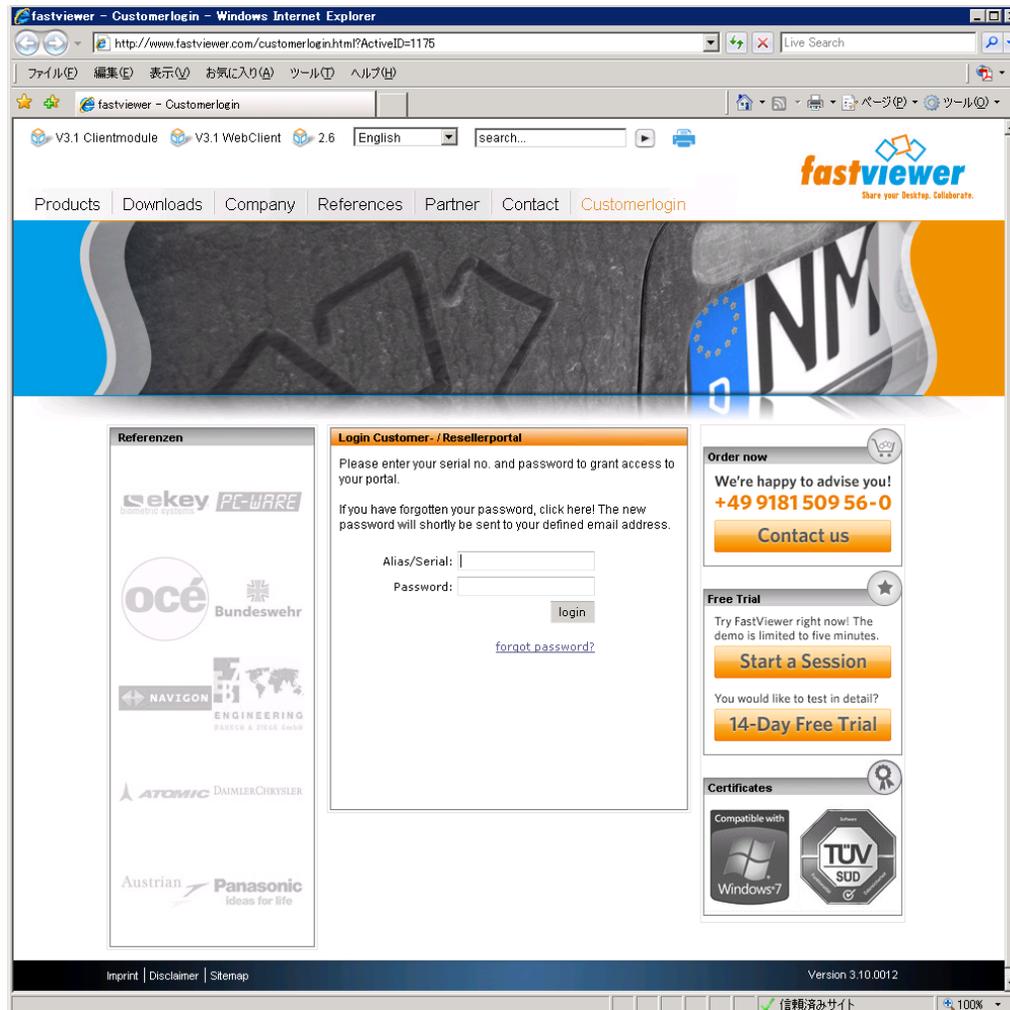
#### パラメータの設定方法

- ① マスターモジュール“FastMaster.exe”のショートカットを作成する
- ② マスターモジュール“FastMaster.exe”のショートカットのプロパティを開く
- ③ リンク先の最後に指定したいパラメータを入力する  
(例: FastMaster.exe /record)
- ④ パラメータを入力したリンク先を適用する
- ⑤ マスターモジュール“FastMaster.exe”のショートカットからマスターモジュールを実行する
  - ・ パス名にブランクを使用する場合は、ディレクトリを引用符(“)で囲んでください。  
例: FastMaster.exe /record:“C:\Data FastViewer Conference”
  - ・ 設定を行ったマスターモジュール“FastMaster.exe”のショートカットから実行しなければパラメータは反映されません。

## 2. パラメータ説明:

<b>FastMaster.exe /record</b>	セッションの開始時に、自動的に録画します。セッションが終了した後、ファイルを保存するか確認画面が表示されます。	<b>FastMaster.exe /record:Directory</b>	セッションの開始時に、自動的に録画します。セッションが終了した後、指定したディレクトリに保存します。ファイルは、 „Session セッションID 日付 時刻.exe“と名前が付けられます。 例: Session 27214 2012-2-22 2.29.40.exe ディレクトリは以下の例のように指定してください。 /record:"c:\data\FastViewer\sessions"
<b>FastMaster.exe /monitor:n</b>	複数のモニタが使用されている場合、セッション開始後に転送するモニタを選択します。 "n"は、モニターIDを表します。	<b>FastMaster.exe /transport:httpttp</b>	通信を行う、ポートを選択します。 HTTP、HTTPS、TCPから選択できます。
<b>FastMaster.exe /lang:0x0411</b>	言語を定義します。このパラメータが使用されていない場合は、自動的に選択されます。 0x0407 ドイツ語 0x0409 英語 0x040C フランス語 0x0416 ブラジル語 0x0004 中国語(簡体字) 0x0813 オランダ語 0x0408 ギリシャ語 0x0410 イタリア語 0x0411 日本語 0x0816 ポルトガル語 0x0418 ルーマニア語 0x0419 ロシア語 0x040A スペイン語 0x041F トルコ語	<b>FastMaster.exe /proxyconfig:IE</b>	ブラウザを選択します。プロキシ設定は、このブラウザから選択します。 (インターネットエクスプローラのIE/ FirefoxのFF)

## FastViewer ポータルサイトでのカスタマイズ



ポータルサイトで実行ファイルのカスタマイズを行うことができます。  
カスタマイズできるのは以下の項目です。

- 各モジュール、各モードのデフォルト動作設定
- 注意喚起のためのメッセージの表示
- ロゴの変更
- プログラム名の変更
- 開始・終了時のメッセージ
- 終了時に表示されるURL

ロゴは150×110ピクセル、または145×33ピクセルの256色のビットマップ(無圧縮)を使用してください。

設定変更後にマスターとクライアントの各モジュールをダウンロードしてください。